



高齢者住宅経営者連絡協議会

The Council of Senior Housing Industry Executives

—海外人材部会 Report—

第23号（令和4年12月）

海外人材NEWS pick up

—目次—

- Page- 1 委員のpickup・会長挨拶・目次
- Page- 2 interview YSパートナー

Pickup

特定技能に一本化視野 技能実習見直しへ議論—政府

外国人が日本で働きながら技術を習得する技能実習制度の見直しに向け、政府は本格的な議論に着手する。人権侵害の温床にもなっているとの批判が強い同制度を、特定技能制度と一本化することも視野に検討が行われる見通しだ。

～時事ドットコムニュースより～

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022112600309&g=pol>

批判の声が多い技能実習制度。明確な根拠はないものの介護業界ではそこまで多くの問題が発生していないと感じます。もし一本化するのであれば海外の方々が働きやすく、事業者も受け入れやすい制度の確立を願います。より良い受け入れが叶います様に！（委員：佐藤）

◇2023年を振り返り◇

コロナの状況はまだ続いていますが、海外人材の入国が再開されましたね。技能実習生制度への批判と、見直しの話が進む中で、特定技能の人材との混合が、プラスになるのか、混乱につながるのか、余談を許しません。留学からの資格取得者も含めて、日本の介護の仕事を目指してきた人たちが、アジアで活躍できるような人材育成の基盤をつくることを目指していきたいですね。

海外人材部会長/三重野 真

高齢者住宅経営者連絡協議会 The Council of Senior Housing Industry Executives（略称 高経協）

- ・MAIL：info@kokeikyo.com / URL：<https://kokeikyo.com/hp/>
- ・所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-8 RBM京橋ビル7F グッドタイムリビング株式会社内
- ・TEL：03-6845-8019 / FAX：03-6845-8015

※本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、会員様への情報提供のみを目的としたものであり、本資料の利用に際しては会員様御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

～Interview～

株式会社YSパートナー
代表取締役 前田 智之氏

『垂直統合型でノウハウを蓄積し内製化へ！』

前田：もともと介護業界にいて日本人だけでは厳しいと感じて、2015年に外国人介護人材の展開をスタートした。最初はベトナムに拠点、看護大学との提携などを進めた。その後、ミャンマーではどこよりも早く特定技能の講座を開く事が出来た。コロナ感染拡大やクーデターがあったが、長期的目線で取り組む事を決めていた。インドネシアでも展開する予定である。

三重野：現地ではどのような活動を行っているのか？

前田：現地では教育と送り出しの両方のライセンスを持っている。テスト対策を通じて介護の基礎知識と実技を教えている。入国後も介護福祉士を目指した教育を継続的に行う垂直統合型スタイルを確立している。現地教育から受け入れ後の教育まで自社で行う。

三重野：やはり垂直統合型の方が質の担保が出来ますか？

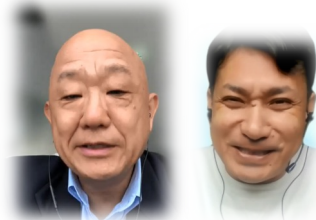
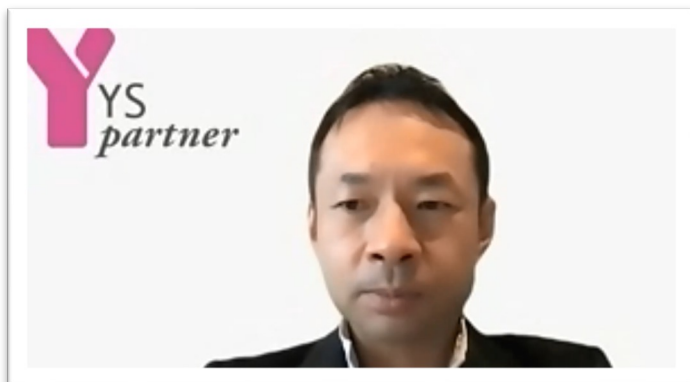
前田：長期的に見てノウハウが蓄積され内製化する事が出来るので、競争力、付加価値はつくと思っている。ただ、現地での拠点立ち上げはどうしても労力がかかる。

三重野：ミャンマーから何人くらい入国されましたか？

前田：海外招聘出来るようになってから100名程度が入国した。

三重野：技能実習と特定技能、どのように展開されると考える？

前田：特定技能は、目的が人手不足対応と明確になっているので、不足が続けば特定技能が推進されていくのでは。但し、政府の意向に左右されていくとは思いますが。

2023年も
宜しく
お願い
致します！～続きは動画にてお楽しみください♪
＜インタビュー＞

海外人材部会長/三重野 委員/佐藤